

市政アンケートモニター

くるもに

平成30年度第2回調査結果報告書

「生物多様性の保全」

久留米市



目 次

I 調査の目的	1
II 調査の方法	1
III 回答者の属性	1
IV 調査結果（生物多様性の保全）	2
V 使用したアンケート調査票	8

I 調査の目的

このアンケート調査は、市民の皆さんの市政に関する意向やニーズを把握し、市の施策推進の参考データとするために実施しています。

II 調査の方法

- (1) 調査地域…久留米市全域
- (2) 調査対象者…久留米市在住の満18歳以上の市民
- (3) 選任方法…住民基本台帳から無作為抽出した候補者の中からモニターを募集
- (4) 実施方法…インターネット調査
- (5) 調査期間…平成30年9月21日～平成30年10月15日
- (6) サンプル数…360
- (7) 回収状況…回収数317（回収率88.1%）

III 回答者の属性

		(人)	(%)
性別	男性	137	43.2
	女性	180	56.8
	計	317	100
年齢	20歳代以下	42	13.2
	30歳代	71	22.4
	40歳代	76	24.0
	50歳代	70	22.1
	60歳代	43	13.6
	70歳以上	15	4.7
	計	317	100
職業	農林漁業	1	0.3
	自営業	20	6.3
	給与所得者(常勤)	174	54.9
	パート・アルバイト (学生は除く)	47	14.8
	学生	11	3.5
	家事に専念	31	9.8
	無職	24	7.6
	その他	9	2.8
	計	317	100
地域ブロック	東部	28	8.8
	北部	34	10.7
	中央東部	56	17.7
	南東部	26	8.2
	中央部	51	16.1
	中央南部	66	20.8
	南西部	30	9.5
	西部	26	8.2
	合計	317	100

※地域区分（校区）

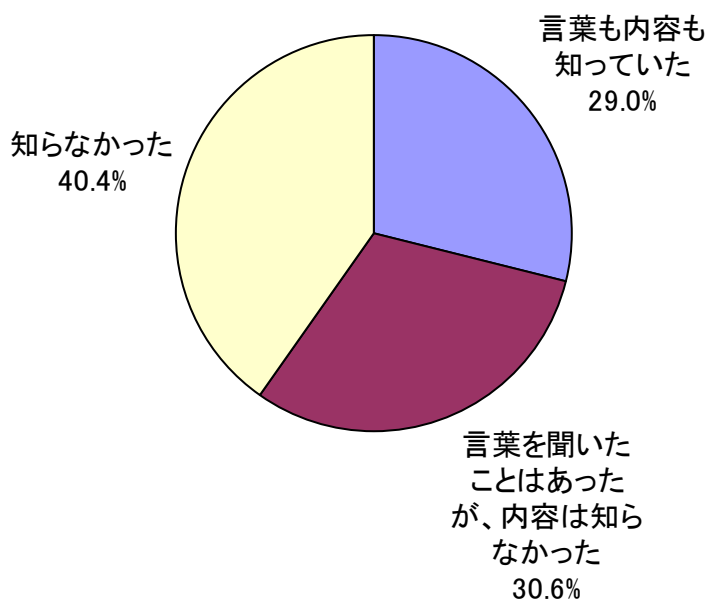
東部:	山川、山本、草野、善導寺、大橋 船越、水分、芝刈、川会、竹野、水縄、田主丸
北部:	小森野、合川、宮ノ陣、大橋、船越、水分、芝刈
中央東部:	西国分、東国分、御井
南東部:	上津、高良内、青峰
中央部:	荘島、日吉、篠山、京町、南薫、長門石
中央南部:	鳥飼、金丸、南、津福
南西部:	荒木、大善寺、安武
西部:	城島、下田、青木・浮島、江上、犬塚、三瀧、西牟田

IV 調査結果

1 生物多様性の保全について

●問1 「生物多様性」という言葉を知っていましたか

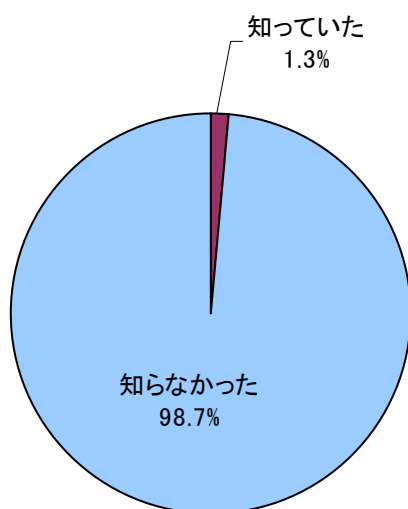
(N=317)



	(人)	(%)
言葉も内容も知っていた	92	29
言葉を聞いたことはあったが、内容は知らなかった	97	30.6
知らなかった	128	40.4

●問2 「くるめ生きものプラン」という言葉を知っていましたか

(N=317)



	(人)	(%)
知っていた	4	1.3
知らなかった	313	98.7

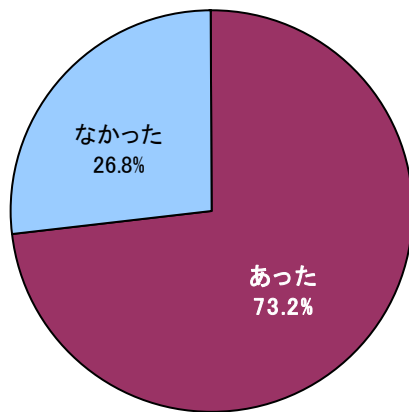
●問2付問 何をきっかけに「くるめ生きものプラン」のことを知りましたか

(N=4) (問2で「知っていた」と回答した人)

	(人)
市公式ホームページ	2
環境フェアや自然観察会などのイベントや説明会	1
くるめ生きものプランの冊子	1

●問3 この1年くらいの間に、身近に自然を感じたり、生きものと自ら進んでふれあったりしたことがありましたか

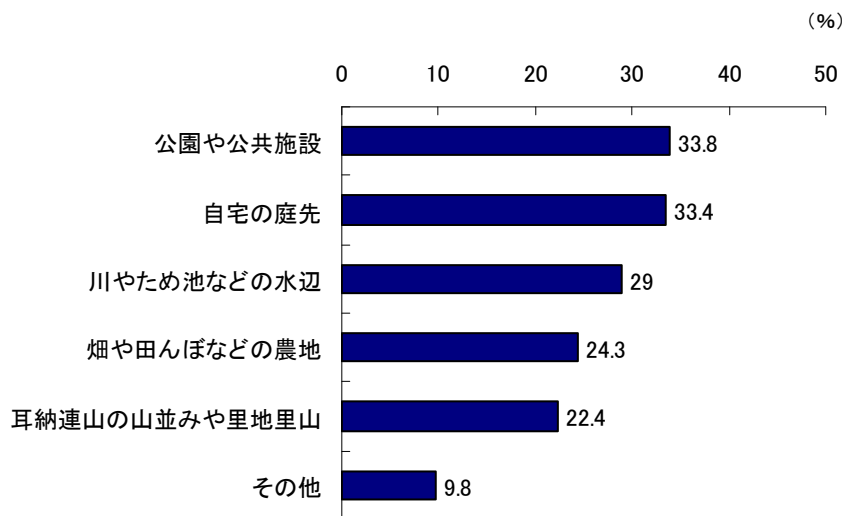
(N=317)



	(人)	(%)
あった	232	73.2
なかった	85	26.8

●問3付問 身近に自然を感じたり、生きものとふれあった場所はどこですか

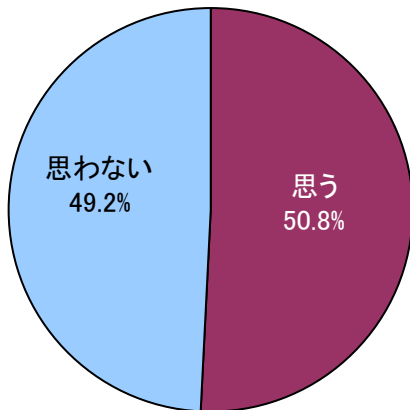
(N=232) (問3で「あった」と回答した人 ※複数回答)



	(人)	(%)
公園や公共施設	107	33.8
自宅の庭先	106	33.4
川やため池などの水辺	92	29.0
畑や田んぼなどの農地	77	24.3
耳納連山の山並みや里地里山	71	22.4
その他	31	9.8

●問4 久留米市内にある花や緑、水辺などの自然環境の魅力は高まっている
と思いますか

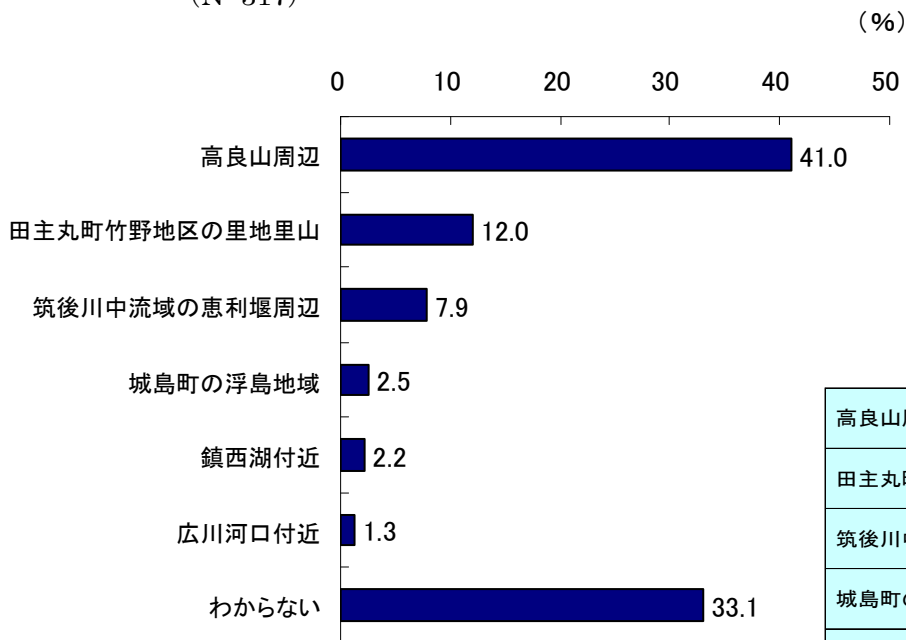
(N=317)



	(人)	(%)
思う	161	50.8
思わない	156	49.2

●問5 市が選んだ「優れた生態系を有する地域」(5地区)や、環境省が選定した「生物多様性保全上重要な里地里山」(1地区)の中で、特に守るべきだと思ふ場所はどこですか

(N=317)

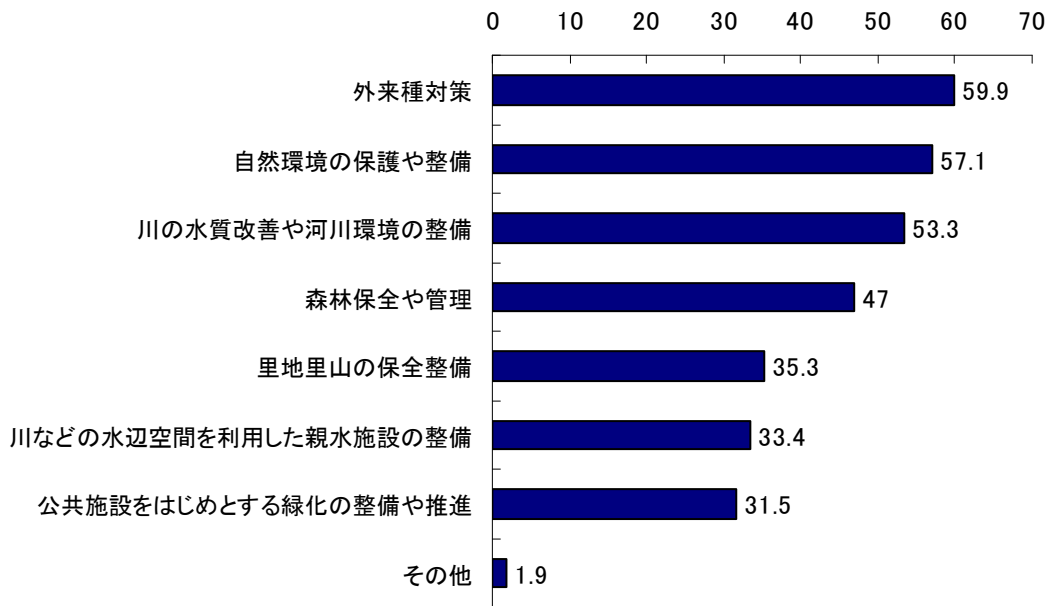


	(人)	(%)
高良山周辺	130	41.0
田主丸町竹野地区の里地里山	38	12.0
筑後川中流域の恵利堰周辺	25	7.9
城島町の浮島地域	8	2.5
鎮西湖付近	7	2.2
広川河口付近	4	1.3
わからない	105	33.1

●問6 生きものが生育・生息しやすい環境整備を行うとしたら、
どのような取組が必要だと思いますか (※複数回答)

(N=317)

(%)

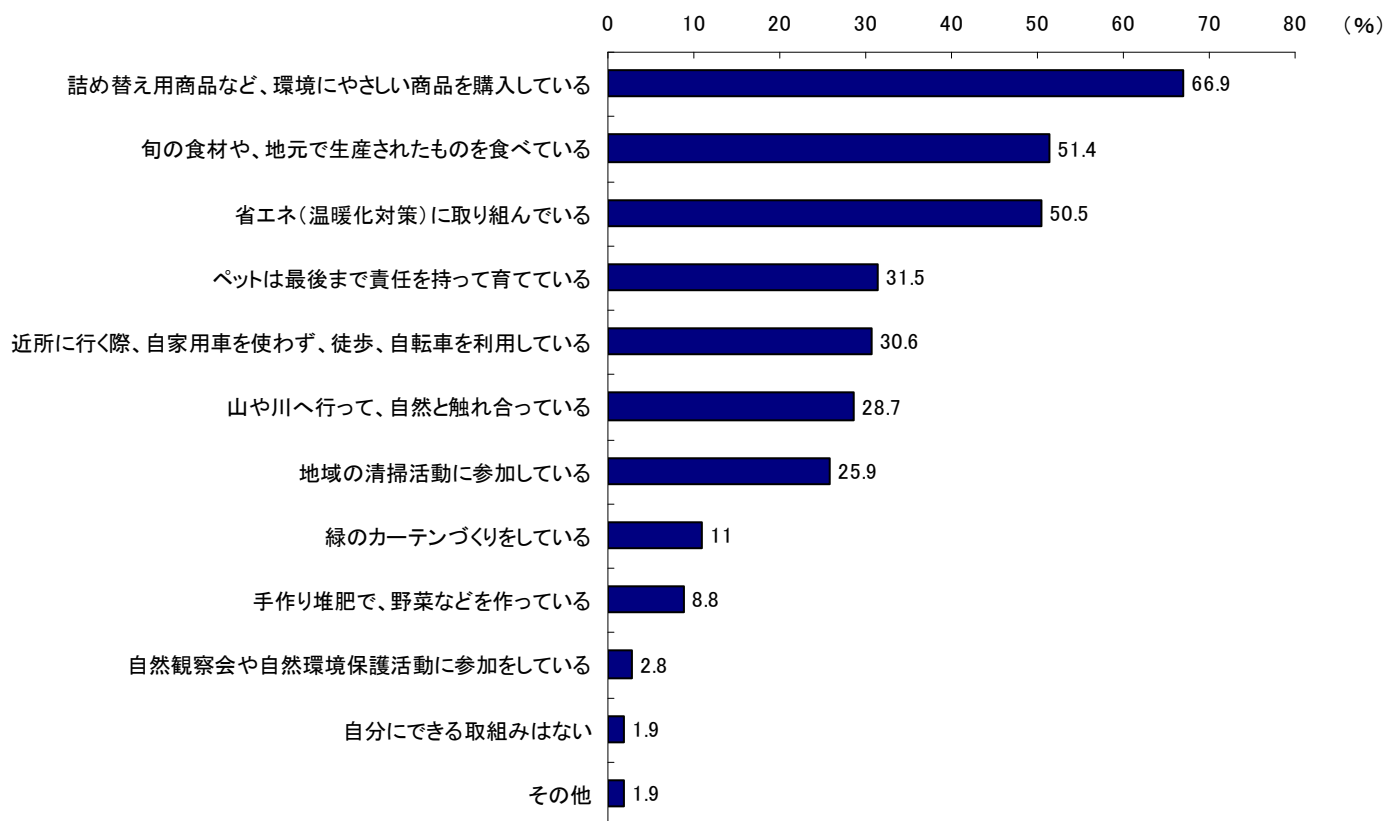


(人) (%)

取組	人数 (人)	割合 (%)
外来種対策	190	59.9
自然環境の保護や整備	181	57.1
川の水質改善や河川環境の整備	169	53.3
森林保全や管理	149	47
里地里山の保全整備	112	35.3
川などの水辺空間を利用した親水施設の整備	106	33.4
公共施設をはじめとする緑化の整備や推進	100	31.5
その他	6	1.9

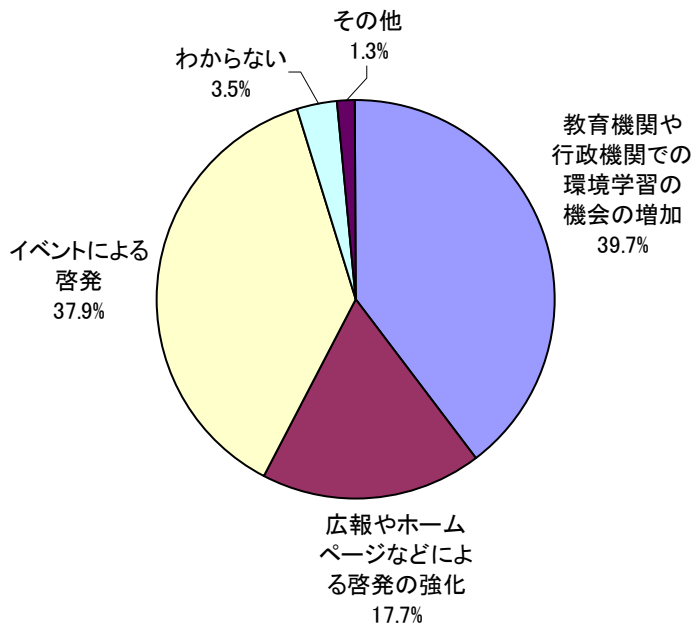
●問7 生物多様性を守るために、どのような活動をしていますか（※複数回答）

(N=317)



	(人)	(%)
詰め替え用商品など、環境にやさしい商品を購入している	212	66.9
旬の食材や、地元で生産されたものを食べている	163	51.4
省エネ(温暖化対策)に取り組んでいる	160	50.5
ペットは最後まで責任を持って育てている	100	31.5
近所に行く際、自家用車を使わず、徒歩、自転車を利用している	97	30.6
山や川へ行って、自然と触れ合っている	91	28.7
地域の清掃活動に参加している	82	25.9
緑のカーテンづくりをしている	35	11
手作り堆肥で、野菜などを作っている	28	8.8
自然観察会や自然環境保護活動に参加をしている	9	2.8
自分にできる取組みはない	6	1.9
その他	6	1.9

●問8 生物多様性の重要性を浸透させるために何が必要だと思いますか
(N=317)



	(人)	(%)
教育機関や行政機関での環境学習の機会の増加	126	39.7
広報やホームページなどによる啓発の強化	56	17.7
イベントによる啓発	120	37.9
わからない	11	3.5
その他	4	1.3



鎮西湖

問3 あなたは、この一年くらいの間に、身近に自然を感じたり、生きものと自ら進んでふれあったりしたことがありましたか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

--- 1 あった 2 なかった
↓

付問 問3で「1 あった」と回答された方におたずねします。身近な自然を感じたり、生きものと自ら進んでふれあった場所はどこですか。

(あてはまる番号にいくつでも○印)

- | | |
|--------------|----------------------------------------------------------------|
| 1 川やため池などの水辺 | 4 自宅の庭先 |
| 2 畑やたんぼなどの農地 | 5 <small>みのうれんざん</small> 耳納連山の山並みや <small>さとちさとやま</small> 里地里山 |
| 3 公園や公共施設 | 6 その他 () |

問4 久留米市内にある花や緑、水辺などの自然環境の魅力は高まっていると思いますか。

(あてはまる番号に1つだけ○印)

- | | |
|------|--------|
| 1 思う | 2 思わない |
|------|--------|

問5 久留米市では、自然環境調査を実施して、5地区（下記1～5）の「優れた生態系を有する地域」を選んでいました。また、平成27年に環境省より「生物多様性保全上重要な里地里山」として田主丸の竹野地区（下記6）が選定されています。下記の地域の中で、あなたが特に守るべき自然環境を有すると思う場所はどこですか。
 （あてはまる番号に1つだけ○印）

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 城島町の浮島地域（下図A） | 5 筑後川中流域の恵利堰周辺（下図E） |
| 2 広川河口付近（下図B） | 6 田主丸町竹野地区の里地里山（下図F） |
| 3 高良山周辺（下図C） | 7 わからない |
| 4 鎮西湖付近（下図D） | |



問6 様々な環境で生きものが生育・生息しています。生きものが生育・生息しやすい環境整備を行うとしたら、どのような取組が必要だと考えますか。
 （あてはまる番号すべてに○印）

- 1 里地里山の保全整備
- 2 川などの水辺空間を利用した親水施設の整備
- 3 自然環境の保護や整備
- 4 外来種対策
- 5 川の水質改善や河川環境の整備
- 6 森林保全や管理
- 7 公共施設をはじめとする緑化の整備や推進
- 8 その他 ()

問7 豊かな自然環境と共生していくには、一人ひとりが身近なところから行動することが重要です。生物多様性を守るために、あなたはどのような活動をしていますか。
(あてはまる番号すべてに○印)

- 1 省エネ（温暖化対策）に取り組んでいる
- 2 近所へ行く際、自家用車を使わず、徒歩、自転車を利用している
- 3 旬の食材や、地元で生産されたものを食べている
- 4 詰め替え用商品など、環境に優しい商品を購入している
- 5 緑のカーテンづくりをしている
- 6 山や川へ行って、自然と触れ合っている
- 7 ペットは最後まで責任を持って育てている
- 8 自然観察会や自然環境保護活動に参加をしている
- 9 手作り堆肥で、野菜などを作っている
- 10 地域の清掃活動に参加している
- 11 自分に出来る取り組みはない
- 12 その他 ()

問8 久留米市の豊かな自然を守り、次の世代に引き継いでいくためには、生物多様性の重要性を理解し、行動できるようになることが必要となります。生物多様性の重要性を市民に浸透させるために、あなたは何かが必要だと思いますか。
(あてはまる番号に1つだけ○印)

- 1 教育機関や行政機関での環境学習の機会の増加
- 2 広報紙やホームページなどによる啓発の強化
- 3 イベントによる啓発
- 4 わからない
- 5 その他 ()

アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

編集・発行／久留米市 協働推進部 広聴・相談課

住所 久留米市城南町1-5番地3

TEL 0942-30-9015

FAX 0942-30-9711

E-Mail sodan@city.kurume.fukuoka.jp